

## 講師、パネリスト、ファシリテータープロフィール

## 1 基調講演「SDGs 達成の鍵を握る自然共生と再生循環」講師

## 造園家・ランドスケープアーキテクト、東京都市大学特別教授

涌井 雅之（わくい まさゆき）氏

- ・東京農業大学農学部造園学科出身。
- ・造園家・ランドスケープアーキテクトとして「景観十年、風景百年、風土千年」と唱え、人と自然の空間的共存をテーマに多くの作品や計画に携わっている。代表的な仕事には、「ハウステンボス」のランドスケーププランニングや「愛・地球博」における会場演出総合プロデューサーがあり、その会場計画や記念庭園の監修に携わっている。
- ・今という時代を「農業革命」「産業革命」に次ぐ人類第三の革命「環境革命」の時代と捉え、地球環境問題、とりわけ生態系サービス（生物多様性）を重視した人と自然の共生を目指した持続的未來に向けた戦略的方向を探りつつ、「地球は限りある囲われたエデン」とであると説く。

## 2 パネルディスカッション「パートナーシップで築く SDGs 達成の未来」

## (1) パネリスト：

## ○リコージャパン株式会社 経営企画本部 コーポレートコミュニケーション部 SDGs 推進グループ兼広報グループ

太田 康子（おおた やすこ）氏

- ・2013年から現職。CSR 報告書と SDGs の推進を担当。SDGs 達成に貢献する先進企業を選出する日本経済新聞社主催の「日経 SDGs 経営大賞 2019」において、「環境価値賞」を受賞した株式会社リコーの SDGs 推進部門と連携して、リコージャパンの SDGs 推進に携わっている。
- ・2016年から全国で1万人を超える社員に実施した CSR 勉強会が反響を呼び、メディアに取り上げられる。

## ○中部大学 中部高等学術研究所／国際 ESD・SDGs センター 准教授

古澤 礼太（ふるさわ れいた）氏

- ・名古屋大学大学院文学研究科比較人文学講座博士後期課程満期退学。
- ・2007年から中部大学に勤務し、ESD(持続可能な開発のための教育)及び SDGs について研究。
- ・東海・中部地区における ESD 推進の中心的役割を担うために 2007年に設立された、中部 ESD 拠点（国連大学が認定する世界 169 の ESD 地域拠点の一つ）の事務局長も務めている。

○環境省 大臣官房 総合政策課 環境教育推進室 室長補佐

田代 久美（たしろ くみ）氏

- ・2017年1月から現職。国連大学との事業を通じ、大学の研究や学生の教育を地域におけるSDGsの達成につなげるプロジェクトを推進。また若者の活動の国際的な発信やネットワークづくりを支援（中部ESD拠点もネットワークの一つ）。
- ・2018年より、ローカルSDGsとしての地域循環共生圏の創造を目指し、主体的に地域課題解決に取り組む次世代リーダーの育成を開始。若手社会人を対象とした「SDGsリーダー研修」や、全国各地のSDGs的な取組の芽をつなげていく「SDGsローカルツアー」事業を実施中。

○環境ボランティアサークル 亀の子隊 代表

鈴木 吉春（すずき よしはる）氏

- ・2015年まで愛知県田原市で小学校教諭として勤務。
- ・総合的な学習をきっかけに1999年、環境ボランティアサークル亀の子隊を設立。海岸の清掃活動等を通じて子ども達に海の大切さを実感させ、自然を愛する心を養うことを目的に活動を行っている。
- ・活動が認められ、環境省主催の「平成29年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰」等を受賞。

○愛知淑徳大学 交流文化学部 3年（「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」第5期修了生）

河村 友紀（こうむら ゆき）氏

- ・愛知県が実施している大学生を対象とした環境面での「人づくり」事業「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」の第5期生（2019年度）として、チーム・TOPPANに所属。チームリーダーとして、パートナー企業である凸版印刷（株）から提示された環境課題を半年間研究。
- ・2019年12月15日に開催した成果発表会では、チーム・TOPPANが発表した解決策（SDGs達成に向けた未来の「環境配慮型パッケージ」）が最優秀賞に選定された。

（2）ファシリテーター：

一般社団法人中部SDGs推進センター 代表理事

戸成 司朗（となり しろう）氏

- ・2007年（株）西友 執行役副社長を退任。その後、住友理工（株）でCSRアドバイザーを務めた。
- ・2019年、（一社）中部SDGs推進センターを設立し、代表理事に就任。SDGsの普及啓発、実践指導を行っている。